発行日／平成29年4月

第61号

なでしこ通信

●ブラジル人学校における学校健診
●「旬」を食べる!!
●よりよい連携を目指して
第14回ケアマネージャー・病院懇談会を開催しました
●沖医師による講演内容要旨
●リハビリ器具「体重免荷トレッドミル歩行トレーニング（BWSTT）」の紹介
●中学生による職業体験学習
●回復期セラピストマネジャー認定／元気に退院しました
●新人紹介
●病院案内図／外来診療表

「熱海桜に集うメジロ」提供者：きよすクリニック　院長　伊藤　喜亮先生

愛知県済生会リハビリテーション病院の基本理念

済生会設立の精神である「恵まれない人々を助ける」を基にして、リハビリテーションを通して、保健・医療・福祉及び介護のサービスを総合的に提供します。

愛知県済生会リハビリテーション病院の基本方針

1　人間性を尊重した、心の通った、質の高いリハビリテーションを提供し、患者さんの自立への支援を行います。
2　生活相談や健康相談を通して、医療を受けることが困難な人々の健康づくりのお手伝いをします。
3　職員一人ひとりが自己研鑽に励み、知識と技術の向上に努めると共に、明るく働きやすい職場づくりに努めます。

～無料低額診療制度のご案内～

当院では病気やけがにより生計困難をきたす恐れがある方や経済的理由により必要な医療をうけることが困難な方に対して社会福祉法に基づいて無料低額診療制度を行っています。申請を希望される方は地域連携室までご相談ください。

「医療福祉・地域連携室」TEL052-571-5253（ダイヤルイン）

募集　あなたの作品を「なでしこ通信」の表紙にしませんか？詳細は当院総務課までお問い合わせ下さい。沢山ご応募お待ちしております！

「ブラジル人学校における学校健診」

済生会では「なでしこプラン」としてさまざまな事情で医療・福祉サービスを受けられない人たちを対象に健康相談等を行っています。

ブラジル人学校は「学校保健安全法」の適用にならず、学校健診は義務付けられておらず、児童生徒が健診を受ける機会がありません。

そのような児童生徒に健診を行い、治療を要する疾患の早期発見や健康の大切さを知っていただくため、当院は「なでしこプラン」の一環として、平成25年度より岐阜県美濃加茂市にあるイザキ・ニュートン校へ出向きブラジル人学校健診を行っており今年度で４年目となります。

平成29年３月３日に医師２名、看護師２名、事務員１名の合計５名が参加して小学校１年生から高校３年生までの児童生徒152名と先生10名の合計162名を対象に事前に行った問診票と血液、尿検査（中学生高校生のみ血圧測定)、視力、聴力検査を参考に医師の内科健診後に総合評価を行いました。

今回の健診でも肥満の生徒が多く、視力低下や尿蛋白陽性の児童生徒もみられ、医師からは、「将来的には生活習慣病になりやすく、食生活等で栄養管理を意識する事が大切であるため、保護者の方にも健康意識をもってもらえるとよい」との話があり学校関係者の方も真剣な表情で聞かれていました。

異常を認めた児童生徒には医師より診療情報提供書を作成していただき病院受診を勧めました。

健診終了後に３歳の小さな幼児から高校３年生の児童生徒、先生たちが集まり和やかな雰囲気の中、立派な花束をいただき記念撮影を行いました。

学校関係者より「今年も本当にありがとうございます。来年度以降もぜひ学校健診を継続していただきたい」と言っていただきました。

今後も関係各所と連携をとりながら、みなさんに健康な生活を送っていただけるような事業に取り組んでいきたいと考えています。

医療福祉・地域連携室　主事　片岡　直孝

▲健診風景

▲記念撮影

なでしこプランとは・・・
済生会は生活困窮者を支援する事業「なでしこプラン」を実施しています。ホームレスや家庭内暴力（DV）被害者、刑務所出所者、障害者、高齢者、在留外国人等で、医療・福祉サービスにアクセスできない人たちを対象に巡回健診、予防接種、健康相談等を行うものです。

食べ物には、いろいろな物がありますがそれぞれに旬という時期があるのはご存知のとおりです。

昨今では一年中を通して出回っている食材、品種改良によって新たに作り出された食材、および種々の冷凍食材が多々ありますが、今回は春夏秋冬の一般的な食材の確認と春の食材を使った料理をご紹介します。

「春」魚介 ： 鯛、さより、めばる、しらうお、しらす、あさり、等々
　　野菜 ： うど、さやえんどう、筍、ワラビ、ぜんまい、蕗、新じゃが、新玉葱、等々
　　果物 ： 八朔、伊予柑、夏みかん、デコポン、いちご、等々

「夏」魚介 ： すずき、かんぱち、ハモ、鮎、アナゴ、かます、等々
　　野菜 ： きゅうり、なす、南瓜、ピーマン、とうもろこし、枝豆、ししとう、等々
　　果物 ： すいか、メロン、さくらんぼ、ブドウ、なし、ビワ、等々

「秋」魚介 ： さんま、うなぎ、かつお、さけ、さば、にしん、等々
　　野菜 ： 里芋、さつまいも、冬瓜、かぶ、むかご、みょうが、チンゲン菜、等々
　　果物 ： いちじく、柿、りんご、かぼす、すだち、等々

「冬」魚介 ： ぶり、たら、あんこう、ふぐ、ひらめ、わかさぎ、かに、カキ、等々
　　野菜 ： 大根、白菜、ほうれん草、こまつな、れんこん、ごぼう、等々
　　果物 ： みかん、オレンジ、レモン、ゆず、等々

また、旬の食材はその栄養価も高く、味も大変良いと言われます。季節によって露地物・ハウス物・冷凍物を使い分け、楽しい食卓、美味しい食事を工夫しましょう。

筍散らし

【材料】

・精白米	100ｇ	・鶏卵	20ｇ
・筍	40ｇ	・菜の花	30ｇ
・えび	45ｇ	・合わせ酢	20cc
		・調味料	適宜

【作り方】

① 米は洗って通常より一割減の水で炊く。
② 筍は千切りにして、醤油、みりんで炊き、淡く味付けする。
③ 炊いたご飯、筍と合わせ酢を混ぜ合わせる。
④ 菜の花とエビはさっと茹で、少量の醤油で味をつける。
⑤ 鶏卵は錦糸卵にする。
⑥ ③④⑤を形よく器に盛り付ける。

＊ご飯にゴマを擦って加えると風味が増して一層おいしくなります。
　お好みによりいろいろ工夫して、美味しく召し上がってください。

栄養管理科長　木下　忠

【よりよい連携を目指して】

「第14回ケアマネージャー・病院懇談会を開催しました」

平成29年２月20日(月) に当院において西区と西区以外の一部の居宅介護支援事業所に加えて、当院担当の通所リハビリ関係のケアマネージャー合わせて28名と当院からは医師・看護師・リハビリスタッフ・医療ソーシャルワーカーの15名が参加をして、第14回ケアマネージャー・病院懇談会を開催しました。

今回の講演は沖医師より「脳・神経疾患と血圧」と題し、血圧の基礎知識や脳血管障害の血圧管理、パーキンソン病患者の血圧変動について講演がありました。

ケアマネージャーより「基礎理解が改めて出来てよかった」「血圧について知識が増え、パーキンソン病についての勉強になった」と感想をいただき好評でした。

ケース検討では「認知症高齢者の独居生活を支援した症例」と題し、環境の変化や新しい支援の導入に対して、消極的な患者さんの退院後をより安全な生活を送るための検討をしました。家事支援や見守り体制についてグループワークを行い、多数のご意見を発表していただきました。

～第14回ケアマネージャー・病院懇談会～

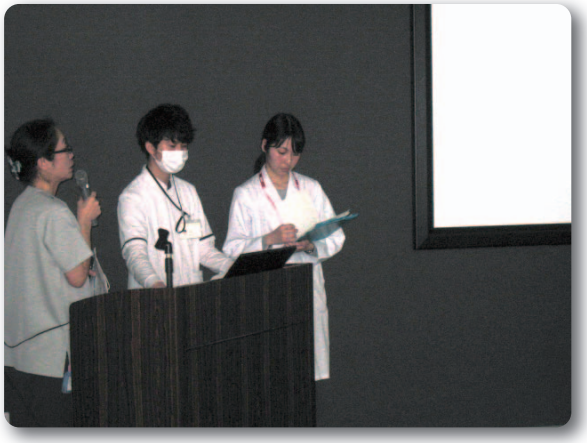
- 沖医師講演「脳・神経疾患と血圧」
- 通所リハビリ報告
- ケース検討・グループワーク
  「認知症高齢者の独居生活を支援した症例」
- その他、意見交換

ケアマネージャーより「市外のサービスも知ることが出来勉強になりました」「自分では思いつかない提案があり参考になりました」と感想をいただきました。認知症高齢者の独居生活の支援サービスはケアマネージャーも課題が多いとのことで、ケース検討を通じ当院・ケアマネージャーとの良き情報交換が行えました。

今後も患者さん、ご家族にとって、よりよい病院であるとともに、地域の方、関係機関との連携を図っていきたいと思います。

次回は平成29年６月中旬頃に開催予定です。次回も講演、症例検討を予定しておりますのでよろしくお願いします。

医療福祉・地域連携室　医療ソーシャルワーカー　杉本　和輝



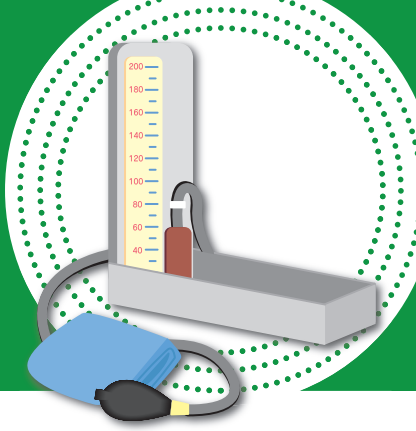
▲ケース検討

▲ケース検討

▲グループワーク

▲沖医師より講演

沖医師による講演内容要旨



本邦を含めた世界のガイドラインのいずれにおいても、140/90mmHg以上が高血圧とされており、30歳以上の日本人の半数以上が高血圧と判定されているそうです。高血圧は心血管病死および総死亡の有意な危険因子でもあるため、至適血圧（収縮期血圧120mmHg未満かつ拡張期血圧80mmHg）になるよう、内服治療や生活習慣の改善をするのが望ましいと考えられます。

高血圧には、診察室での高血圧「白衣高血圧」、診察室では問題なくても家庭で高血圧になる「仮面高血圧」があり、仮面高血圧はさらに早朝高血圧、昼間高血圧、夜間高血圧のタイプに分けられます。診察室で高血圧と言われない方も、心血管病のリスクがより高い仮面高血圧である可能性もありますので、機会があったら家庭でも血圧を測ってみるといいでしょう。

パーキンソン病など、自律神経障害がある場合には血圧の変動が大きくなる傾向があります。血圧測定時に思いがけない高値、低値が測定されることがありますが、慌てずに、落ち着くまで安静にし、受診時に主治医と相談して下さい。

高血圧治療では薬物療法も大切ですが、生活習慣の修正が出来ていないと降圧治療はうまくいきません。具体的には、塩分６g/日未満にする、野菜・果物の摂取量を増やし、脂質の摂取を減らす、減量する、といったことが挙げられます。

塩分６g/日未満というのは、非常に厳しい印象をうけますが、2012年に発表されたWHOの一般向けのガイドラインでは塩分５g/日未満が推奨されており、日本での６g/日未満というのは、日本の実情に合わせた目標です。参考のレシピを日本高血圧学会減塩委員会が公開していますので、参考にしてみて下さい。

エネルギー摂取は同時に塩分の摂取となりますので、減量が必要な場合はエネルギー摂取の制限により、ある程度の減塩が可能です。

血圧治療の目標値は、表の通りですが、脳卒中の発症から１ヶ月以内は病態によって目標値が変わるため、医師の指示に従って治療を行います。血圧の治療は数日で出来るものではなく、内服治療を行っても良い状態にコントロールするために月単位の時間がかかることもあります。高血圧の治療は継続することが最も大切ですから、何か不安を感じた場合にはまず、主治医に相談し、治療を中断することがないようにして下さい。

副部長　沖　祐美子

降圧目標

	診察室血圧	家庭血圧
若年、中年、前期高齢者患者	140/90mmHg未満	135/85mmHg未満
後期高齢者患者	150/90mmHg未満 （忍容性があれば140/90mmHg未満）	145/85mmHg未満（目安） （忍容性があれば135/85mmHg未満）
糖尿病患者	130/80mmHg未満	125/75mmHg未満
慢性腎臓病	130/80mmHg未満	125/75mmHg未満（目安）
脳血管障害患者 冠動脈疾患患者	140/90mmHg未満	135/85mmHg未満（目安）

注　目安で示す診察室血圧と家庭血圧の目標値の差は、診察室血圧140/90mmHg、家庭血圧135/85mmHgが、高血圧の診断基準であることから、この二者の差をあてはめたものである

▲高血圧治療ガイドライン2014より（日本高血圧学会）

リハビリ器具
「体重免荷トレッドミル歩行トレーニング（BWSTT）」の紹介

当院にはリハビリテーションで使用するための物品や器具がたくさんあります。今回はその中の一つ、体重免荷トレッドミル歩行トレーニングについてご紹介します。

体重免荷トレッドミル歩行トレーニングとは、身体に装着したベルトを懸垂装置で上方に引っ張り上げることで、体重を軽くした状態で歩行訓練が可能です。

詳しくは担当療法士までお尋ねください。

●どんな人に使うか？

脳卒中後の麻痺や整形疾患による手術後の筋力低下や痛みの影響で歩行が困難となった患者さんに対し、BWSTTを使用することで、早期から歩行トレーニングを行うことが可能です。さらに体をつり上げる重さや歩く速度を患者さんに合わせて設定することが出来るため、能力に合わせた訓練が可能です。安全面から見ても、ベルトを使用することで訓練中の転倒を減らすことができます。

●適応疾患例

脳卒中、下肢骨折術後、変形性膝関節症、脊髄損傷、パーキンソン病など

●BWSTTはどんな効果があるのか？

歩く速さ・バランス・歩き方の改善、体力の向上、痛みの軽減、筋肉の活動を促進する等が報告されております。

▲BWSTT使用中

使用された患者さんの声

- 身体が軽くなった！
- 宇宙遊泳をしている気分になった。
- 歩きやすかった！
- 使ったあとは足が軽い。
- 足が出やすくなった。

など

理学療法士
久米　裕介、鳥井　崇司、
伊藤　教子、倉橋　彩

中学生による職業体験学習

働くことに対する意識を高め、将来の進路選択に役立ててもらう目的で、近隣の中学校から男子３名、女子４名が、２日間の体験学習に参加しました。当日は、実際の看護師のユニホームに着替え、看護部長より多職種で病院は構成されていることを説明すると、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの有資格者になるためには、どのような進路選択すればよいかなど、興味深い質疑応答がされました。

その後、実際の栄養科、医療連携室、薬剤科、医事課、検査科、放射線科、病棟見学、２日目には、病棟体験（退院見送り、入院受入れ、入浴介助、支持受け等）、リハビリ見学を行いました。各部署から、仕事内容の説明を受け、生徒さんからは「仕事に対しての喜び・初めて仕事したときの気持ち・気をつけていること・やりがい」等々活発な質問が出ました。現場からいろいろな体験話を聞くことができ生徒さん達にとっては、現場の生きた声が直接聞ける良い機会だったと思います。

幾つかある中学校の「職業体験」から、「医療関係」を選んだのは、将来すでに「外科医師・看護師・理学療法士」を目指していることや「身内に医療従事者」の方がいる等の理由でした。

最後のミーティングでは「ＣＴの輪切り映像に感動したこと」、「看護師さんの患者さんに対する接し方で、患者さんが笑顔になる姿をみて感動したこと」また、「リハビリ装具では、実際に装着したり、手に取ったりし、興味深い印象を持ったこと」と感想を話されました。

最後に院長より「世の中の仕事は、常によい事ばかりではないが、みんな一生懸命に働いている姿を見て、将来の職業選択に役立ったと思います。何を選ぶかは、勉強次第ですが、医療関係は『世の中に役立つ』、『人のために仕事をする』ということです。将来の目標をもって頂き、部活動やスポーツも行い、幅広い視野で学校生活を送ってください」と、エールの言葉を贈りました。

総務課　中川　きみえ

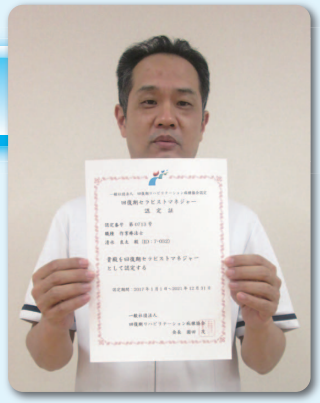
▲リハビリ見学

▲医療ソーシャルワーカーからの説明

▲吸引の説明について

▲院長参加のミーティング様子

回復期セラピストマネジャー認定



第７回、回復期セラピストマネジャーコースを受講し晴れてセラピストマネジャーとなりました。講義は18日間、120時間にわたり最終日には試験もあり、今回で119名、延べ約800名がセラピストマネジャーとなりました。当院では３人目となるセラピストマネジャーはフロアレベルのマネージメントを担うべくもので回復期協会では１フロアで２名の配置を目指しています。現在病床数は全国で77000床を超え年々増加傾向にあり、質の向上が求められています。今年度より実績指数も導入されより成果が求められるようになりました。今後はセラピストマネジャーとしてセラピストの視点だけではなく病棟全体を考えたマネージメントを実践していきたいと考えています。そして患者さんにより質の高い医療を提供し患者さんの社会復帰を早期に実現できるよう日々の業務に励んでいきたいと思います。

病棟主任技師　清水　良太

～元気に退院しました～

入院患者　　佐々木　理さん

お身体の調子はいかがですか？

11月７日に交通事故に遭い骨盤骨折し、12月12日にこちらに来た時は、左足に荷重をかけられず、床に足をつけてはいけない状態でした。今は全荷重かけて良いが、まだは痛むことがあり、かばってしまう状態です。また、交通事故の後遺症か分かりませんが、左足の外側が麻痺しているので、熱さなどが感じられなく、左足の付け根と膝がまだ痛む状態です。でも、今後だんだんよくなっていくことと思います。

職員の対応はどうでしたか？

若い職員が多く、一生懸命にリハビリをしてくださり好感が持て、感謝しております。
職員全体が、今以上に「患者さんとの挨拶」がもっとあると、活発な雰囲気になるのでは？と、感じました。

佐々木さん

退院後にしたい事はありますか？

血糖値の管理をしなければいけませんが、美味しい食事を食べに行きたい。（特にお肉料理）また、旅行にも行きたいです。

来年の５月に娘の結婚が控えているので、それまでには杖無しの独歩で、一緒にバージーンロードを歩くことが目標で、整形外科へ通いながらリハビリを頑張ります。

通所リハビリに通われますか？

息子や娘と話している雰囲気で、楽しかったので通いたいのですが、介護保険の適用にならないので、他の整形外科でリハビリを行う予定にしております。

▲スタッフといっしょに記念撮影
後方右から３番目

新人紹介

医局　内科部長　奥村（おくむら）　直哉（なおや）

病から立ち直り再び日常に向かわれる方たちを多面的にサポートする当院で、医師として、またひとりの人間として皆さんとともに張り合いの感じられる仕事ができる一助になることができればうれしく思います。
●趣味：海釣り、釣った魚の料理

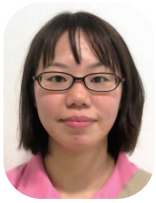
准看護師　林（はやし）　なつみ（なつみ）

患者さんがリハビリに専念し、充実した入院生活が送れるように援助していきたいと思います。
●趣味：音楽鑑賞

介護福祉士　鷲見（すみ）　加代子（かよこ）

明るく、笑顔を絶やさずに勤務しようと思っています。
●趣味：旅行

介護福祉士　石井（いしい）　真貴（まき）



初心に戻り、患者さん１人１人丁寧に接し、少しでも元気になって貰える様に頑張っていきたいと思います。
●趣味：カメラ、旅行

介護福祉士　中村（なかむら）　由美（ゆみ）

仕事に必要な知識を技術をみがき、一日も早く戦力になれるよう邁進していきます。
●趣味：音楽、コンサートを兼ねての旅行、お笑い

介護福祉士　長坂（ながさか）　理恵子（りえこ）

患者さんが安全で快適な入院生活を送れるよう支援したいと思っております。よろしくお願い致します。
●趣味：料理

介護福祉士　原（はら）　さつき（さつき）

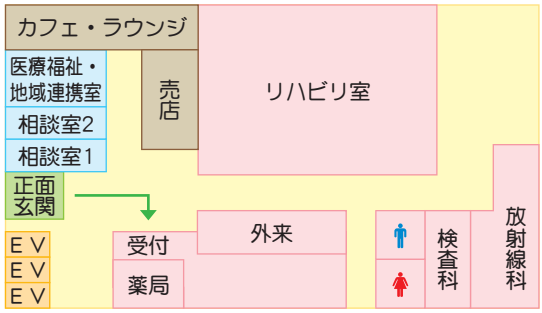
患者さんが安心して過ごして頂けるように精一杯頑張ります。よろしくお願いします。
●趣味：ジョギング、読書

● 当院へお越しの方へご案内 ●

■病院案内図

※1　入退院時、家族面会等の場合、駐車券を１階受付にお出し下さい。入庫時間より最大２時間まで無料とさせて頂きます。２時間を越える場合は、60分毎に200円の料金が発生します。

1F受付・EVへの行き方



■病棟案内図

- ３F～6F　病棟●リハビリテーション室
- ２F　管理部門●栄養管理室●会議室
- １F　受付●外来●医療福祉・地域連携室●相談室●薬局●検査●放射線科●リハビリテーション室●売店

●市バスでお越しの方

名古屋駅桜通口乗り場
10番乗り場　名駅26系統平田住宅行き
「済生会リハビリ病院（愛知県済生会リハビリテーション病院）」下車
８番乗り場　名駅29系統左回り
「済生会リハビリ病院（愛知県済生会リハビリテーション病院）」下車
栄バスターミナル（オアシス21）
１番乗り場　栄27右回り西巡回
「済生会リハビリ病院（愛知県済生会リハビリテーション病院）」下車

●名鉄でお越しの方

名鉄名古屋本線「栄生駅」下車、北東へ徒歩約10分

●地下鉄でお越しの方

地下鉄鶴舞線「浅間町駅」下車、西へ徒歩約15分

外来診療表

H29年４月現在

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
第1診察室	午前 8:30～11:30			神経内科（沖　祐美子）		神経内科（向井榮一郎）
	午後 13:30～17:00			リハビリテーション科（伊藤　岳史・予約制）		

発行／社会福祉法人 恩賜財団 愛知県済生会リハビリテーション病院　広報委員会
〒451-0052 名古屋市西区栄生1-1-18　TEL 052-571-5251　FAX 052-551-0057
ホームページ http://www.aichi.saiseikai.or.jp/

VEGETABLE OIL INK
再生紙を使用しています